

ご家族みんなの元気を応援します！

元気ニュース

Genki News

Vol. 17

万能 プラセンタとは？

「プラセンタ」とは、英語で「胎盤」を意味します。

胎盤は、人体に欠かせない各種の物質を胎児に供給する重要な役割を担っています。受精したばかりの卵子はミクロの存在ですが、わずか10ヶ月の間に見事な赤ちゃんに成長します。これは胎盤が素晴らしい働きを持った組織であることに間違いありません。赤ちゃんを育む愛情の力です。

プラセンタには、タンパク質や酵素・ビタミン・ミネラル・糖質・核酸・各種グロースファクター（成長因子）など**数百種類の成分が含まれ、ホルモン調整作用・抗酸化作用・免疫賦活作用・美白作用・細胞分裂増殖作用**をはじめ様々な機能を有しています。



“医薬品”として認可されているプラセンタ

プラセンタは、医療用医薬品としての認可を得てから半世紀近くの歴史を刻んでおり、更年期障害及び乳汁分泌不全の治療剤として、又、肝障害の治療剤として、各医療機関において使用されています。肝硬変に関しては唯一の医薬品として厚生労働省に認可されています。上記疾患に対しては保険適応となっています。

プラセンタの肝硬変

プラセンタのもつ**細胞賦活作用**や**抗炎症・抗酸化作用**等が肝臓病に対して広く効果があることがわかりました。肝炎に対してはプラセンタの**免疫賦活作用**や**抗炎症・抗酸化作用**等が働き、炎症を抑え肝臓の正常な働きを取り戻します。また、**細胞賦活作用**をはじめとした様々な作用が複合的に働くことで、プラセンタは唯一の「肝硬変治療薬」として、世の中に登場しました。



では、次のページからは「プラセンタの優れたパワー」についてご紹介します！

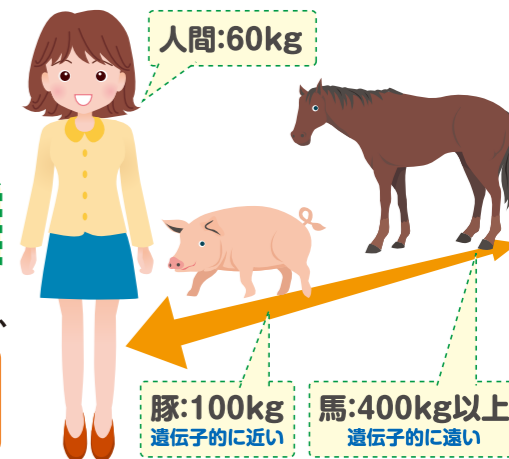
健康 TOPICS 第16回 ちょっとカラダにいいお話

哺乳類だけが持つ プラセンタがオススメ!

現在、豚由来のプラセンタは、サプリメントや化粧品など多くのプラセンタ製品に使用されています。それは、馬と比べ、豚が人間にサイズ・遺伝子的に近く、皮膚や臓器の移植などの研究には、必ずと言っていいほど豚が使われているからです。

原材料メーカーによれば、**豚と馬プラセンタのアミノ酸の量は、ほとんど変わらないそうです。**

プラセンタ=胎盤という、極めて安全性が求められるものだからこそ、**馬よりも人間の遺伝子に近い豚プラセンタが良いのです。**



プラセンタを助ける成分

野草発酵エキス

野草発酵エキスを摂取することで、

- ◆体内酵素の働きをサポートして、健康で丈夫な体をつくる
- ◆善玉菌の働きを高め、腸内環境を改善し吸収力をアップさせる
- ◆免疫力を高め、病気から体を守る ◆毎日の食生活で、不足しがちな栄養素が補える

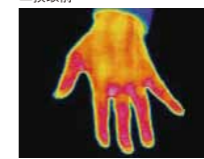
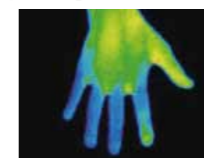
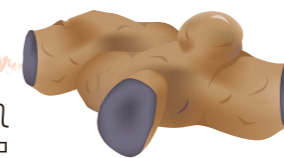


※野草イラストは一例です。

黒ショウガ

一般的な家庭等で使用されている白しょうがより、血行促進、血流改善効果が強いことが確認されています。また、これまでの研究で様々な成果が分かっています。

- ◆末梢の温度を顕著に上昇させる
- ◆性欲増強が観測される
- ◆更年期症状の緩和と生理周期の改善
- ◆肌の若返り
- ◆便通の改善
- ◆脂質代謝の促進



▲摂取前

▲摂取後

グレープシードオイル

グレープシードオイルはコレステロール0%の食用油です。グレープシードオイルに含まれるビタミンEは、オリーブ油の約2倍以上も含まれています。ビタミンEは血行を良くし、若さを保つ大切なビタミンです。抗酸化作用があり体内で発がんの元となる、過酸化脂質が作られにくくなります。グレープシードオイルには、抗酸化物質のポリフェノール類を多く含む為、動脈硬化の予防に効果があると言われています。



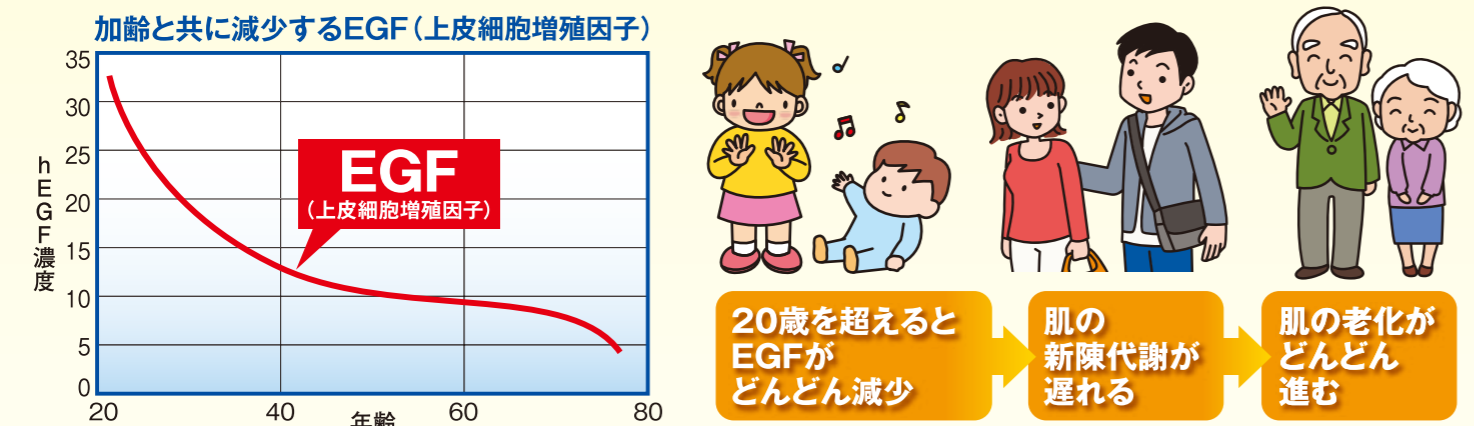
新たな細胞を 作り出すのに欠かせない!

プラセンタのパワー

プラセンタは胎児を成長させる大切な器官であり、胎児の成長を促すいろいろな種類の「成長因子」と呼ばれるものが含まれています。「成長因子」とは、細胞を刺激して細胞の分裂を促進する活性化因子のようなものです。プラセンタにはこの成長因子が数多く存在し、その働きによって細胞の新陳代謝が良くなり、全身の細胞が活性化されるといわれています。プラセンタのこの成長因子がアンチエイジングに効果的なのではないかと、現在多くの研究がなされています。

細胞増殖因子量と年齢

プラセンタに含まれる多くの「成長因子」中で、肌年齢に大きく関わるEGF（上皮細胞増殖因子）の体内濃度は、年齢と共にどんどん減少していきます。そのため肌の新陳代謝が遅れ、年齢と共に肌は老化していきます。



40歳代半ばになると20歳の時の3分の1に減少!!
EGF以外の「成長因子」も年齢と共に減少します!

プラセンタに含まれる因子とは?

- **EGF（上皮細胞増殖因子）**
 - 表皮の充実 ●キメを整える ●新陳代謝促進 ●皮膚、肺、角膜、気管上皮細胞の増殖
- **FGF（繊維芽細胞増殖因子）**
 - 真皮の充実 ●ニキビ跡の修復 ●ハリ、ツヤ、シワ ●肌の透明感を保つ
 - ヒト繊維芽細胞、血管内皮細胞増殖 ●コラーゲン、ヒアルロン酸、エラスチン増殖
- **NGF（神経細胞増殖因子）**
 - 自律神経のバランスを整える ●神経細胞（知覚、交感神経接細胞）の増殖
 - 更年期障害、うつ、物忘れ、老化等の防止
- **IGF（インシュリン様成長因子）**
 - 関節痛の軽減 ●リウマチ等軟骨細胞、平滑筋細胞の増殖 ●骨の形成
- **HGF（肝細胞増殖因子）**
 - 肝臓、心臓、腎臓、肺、胃、血管系、脳神経等 各細胞の増殖
- **免疫力を向上させる成長因子（サイトカイン）**
 - CFS（免疫担当細胞の顆粒球、マクロファージ等の幹細胞増殖） ●IL-1（T細胞、B細胞、NK細胞等の増殖）
 - IL-2（ヘルパーT細胞、キラーT細胞、サブレッサーT細胞増殖） ●IL-3（造血幹細胞増殖）
 - IL-4（B細胞の増殖及び抗体産生細胞への分化促進）

プラセンタに含まれる栄養成分は約5,000種類以上!

プラセンタには、豊富な栄養成分が多く含まれています。その数なんと約5,000種類以上!! 下記の成分はその中のごく一部です。「万能薬」といわれるプラセンタには、この他にも多くの栄養成分が含まれています。

| アミノ酸 | ミネラル | ビタミン | タンパク質 | 糖質 | ムコ多糖類 | 核酸 | 酵素 |
|---|---|---|----------------|------------------------|-------------------|--------------------|---|
| ロイシン リジン バリン スレオニン イソロイシン グリシン アラニン アルギニン <small>*他数十種類</small> | カルシウム ナトリウム カリウム マグネシウム リン 亜鉛 鉄 | ビタミンB1 ビタミンB2 ビタミンB6 ビタミンB12 ビタミンC ビタミンD ビタミンE ナイアシン | アルブミン グロブリン | グルコース ガラクトース ショ糖 | ヒアルロン酸 コンドロイチン | DNA RNA 代謝産物 | アルカリホスファターゼ 酸性ホスファターゼ ヒアルロニダーゼ アデノシン三リン酸 <small>*他100種類以上</small> |

わが国における「健康・病気」の基準

私たち人間の身体は、生まれつき変化や異常に対してそれを正常に戻そうとする力が自然に働きます。この「自然治癒力」が「何らかの原因で著しく低下」し、身体に機能障害が起こった状態を「病気」と呼んでいます。

プラセンタが細胞の破壊を防ぎ、再生を助ける!

活性酵素除去作用
現代病の約90%（心臓病、脳血管疾患、ガンなど）は活性酵素が原因です。プラセンタにはこの活性酵素を除去する作用があるので、これらの現代病に対して効果的だといえます。

肝細胞の増殖
プラセンタに含まれる肝細胞増殖因子は、肝臓だけではなくそれ以外のほとんどの臓器に対しても効果を発揮します。破壊された細胞を修復し、再生する働きがあるといわれています。肝臓病、腎臓病、糖尿病、胃潰瘍、心筋梗塞、脳梗塞、肺疾患、筋疾患などに対する効果が動物実験の結果でわかっています。

プラセンタが自然治癒力を高める!

私たちの体は、生まれつき変化や異常に対して、それを正常に戻そうとする恒常性維持（ホメオスタシス）の機能を持ちますが、これは「神経系」と「内分泌系」、そして「免疫系」が相互に作用し合うことで生じることがわかっています。プラセンタは、「神経系」「内分泌系」「免疫系」のそれぞれを健全に働かせることにより、このネットワークの働きをより強化して、変調や病気に強い体をつくる、つまり自然治癒力を高めるといわけです。



プラセンタの役割イメージ

自律神経系 + 内分泌系 + 免疫系 = **自然治癒力**
元々誰もが持っているすばらしい機能